

政策体系	基本目標名	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	施策主管課長	観光立市推進課
	政策名	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		
	施策名	2	魅力ある観光資源の開発と整備		
施策関係課	都市ブランド推進課、市民活動促進課、市民生活課、産業立市推進課、農政課、農山村振興課、文化立市推進課、スポーツ立市推進課、文化財課				高橋 利彰

1. 施策の目的と成果把握

施策の目的「対象」	この施策は、誰、何を対象としているか	対象指標				単位	H30	R1	R2	成果指標設定の考え方
	①観光資源(観光スポット、自然、特産品、観光企画商品) ②「町会のお宝・自慢」 ③観光施設	①観光スポット数 ②「町会のお宝・自慢」の数 ③市有観光施設数 ④	箇所	119	133	134	箇所	506	504	
施策の目的「意図」	この施策によって、「対象」をどういう状態にするのか	成果指標(意図の達成度を表す指標)	区分	単位	H30	R1	R2	R3	成果指標の取得方法	
	①②観光資源を発掘し、観光資源の整備を進める。 ③時代のニーズに合った適切な維持管理ができる。	① 開発・整備した観光資源数 ② 観光施設等改修箇所数 ③ ④ ⑤	目標 実績	箇所	3 2	3 3	3 2	3 6		3 6

2. 基本事業の目的と成果把握

基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	H30	R1	R2	R3	基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	H30	R1	R2	R3		
新しい観光資源の開発と整備	①観光資源	観光資源として整備されている。	① 開発・整備した観光資源数(観光ルート除く) ② 開発・整備した観光ルート ③	目標 実績	箇所	3	2	3	2	宿泊、体験型観光の推進	①国内に居住する人 ②アジアの観光客	本市で宿泊・体験してもらう。	① 宿泊施設を改修した箇所数 ② 体験型宿泊施設の宿泊者数 ③ 体験メニュー数 ④ 宿泊施設利用者の満足度 ① ②	目標 実績	箇所	5	5	5	5		
						1	0	0	0							目標 実績	人	14,100	14,100	14,100	14,100
						0	1	0	1							目標 実績		個	38	39	40
利便性の高い観光施設の整備・維持管理	①観光施設	安全な利用が可能になっている。	① 案内看板改修整備数 ② 国際化対応看板設置率 ③	目標 実績	箇所	1	1	1	1	目標 実績	%	76.0	77.0	78.0	79.0						
						5	9	4	1			目標 実績	目標 実績	76.6	87.5	81.3					
						20.0	26.7	33.3	40.0			目標 実績	目標 実績								

3. 施策及び基本事業の目標達成度評価

施策	令和2年度施策の取組方針		施策の取組方針・成果指標達成状況	
	取組方針	成果指標	取組方針	成果指標
施策	<ul style="list-style-type: none"> 観光誘客に関し、スポーツ、産業及び文化の各分野と連携し、多様化する観光客のニーズにあった体験をメインとした新たな観光メニュー及びルートにより、魅力ある旅行企画商品の開発に取り組む。 効果的な場所に国際化対応看板を設置する。 観光客が、観光施設を安全に安心して利用できるよう適切な維持管理を行うとともに、快適に感じる施設の整備と運営の工夫を行い、利便性の向上とリピーターの増加を図る。 	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	【施策の取組方針達成状況】 ・市民団体やむらづくり団体等と協力し、コロナ禍に対応できるようキャンピングカーを活用したキャンプ体験についての可能性を研究した。 ・観光案内看板の維持管理(除草等を含む)を行った。また、次年度の改修計画を立てた。 ・観光客が安心して安全に観光施設を利用できるよう、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置を講じたほか定期点検と修繕工事を行い、適切な維持管理と利便性の向上を図った。
				【成果指標達成状況】 ・海外旅行事業者向けの英語版パンフレットの作成・配布並びにオンラインツアーを実施した。 ・老朽化した観光施設等の改修を計画的かつ適切に対処した。

基本事業	令和2年度基本事業の取組方針		基本事業の取組方針・成果指標達成状況		基本事業名	令和2年度基本事業の取組方針		基本事業の取組方針・成果指標達成状況	
	取組方針	成果指標	取組方針	成果指標		取組方針	成果指標	取組方針	成果指標
新しい観光資源の開発と整備	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ、産業及び文化の各分野と連携し、多様化する観光客のニーズにあった新たな観光メニュー及びルートの充実と効果的なPRを図る。 観光関連事業者等と連携し、ムスリム向け観光ルート及び体験メニューの開発に取り組む。 	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	【基本事業の取組方針達成状況】 ・市民団体やむらづくり団体等と連携を図り、コロナ禍での新たな体験メニューの開発に取り組んだ。 ・コロナ禍により積極的なインバウンド誘客はできなかったが、インドネシアの旅行会社向けに訪日オンラインツアーを実施し、ムスリムに対応したラーメン店やいちご狩りのPRを行った。 【成果指標達成状況】 ・新規に開発した観光資源はなかったが、ジャパンワールドリンク社と下野新聞社が主催のWTM事業に参画し、英語版パンフレットを作成し、ロンドンの旅行関係者にPRした。 ・インドネシアの旅行会社向けに訪日オンラインツアーを実施した。	宿泊、体験型観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> 観光客が、快適に感じる施設の整備と運営の工夫を行い、利便性の向上とリピーターの増加を図る。 観光関連事業者や指定管理者等と連携し、利用者のニーズに沿った体験メニューの導入に取り組む。 	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	【基本事業の取組方針達成状況】 ・リピーターの増加を図るため、体験型宿泊施設の3施設において計17か所の修繕に取り組んだ。 ・新型コロナウイルスの影響により、調理系の7つの体験メニューが休止しており、各体験型宿泊施設毎にモニタリングを実施し、コロナ禍においても実施できる魅力的な体験メニューを提供できるよう指導した。 【成果指標達成状況】 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言等が、体験型宿泊施設の宿泊者数に大きく影響した。
利便性の高い観光施設の整備・維持管理	<ul style="list-style-type: none"> 観光客が、安心して安全に利用できるよう適切に観光施設の維持管理を行い、観光客への利便性の向上を図る。 効果的な場所に国際化対応看板を設置する。 	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input checked="" type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	【基本事業の取組方針達成状況】 ・既存施設の老朽化に伴う修繕に積極的に取り組んだ。 ・国際化対応看板の設置に関し、関係部署と協議を行った。 【成果指標達成状況】 ・既存看板の国際化は段階的に対応しているため、数値が急伸しない。			<input type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	<input type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成	

4. 施策の基本情報

施策の基本情報	社会情勢変化、国・県の動向、市民・議会意見等	施策の成果向上に向けての役割分担		
		市民	事業所	行政
<ul style="list-style-type: none"> 平成26年に唐沢山城跡が国指定史跡となった。 国指定史跡の唐沢山城跡が平成29年に「続日本100名城」に選定された。 平成29年度に全国山城サミット佐野大会を開催した。 観光客のニーズが多様化している。 観光ボランティアガイドの利用希望が年々増加している。 平成28年にNHK大河ドラマ「真田丸」の放送により、薬師堂が新たな観光スポットとなった。 新型コロナウイルスの感染症の拡大を受け、「Go Toトラベルキャンペーン」は2020年12月28日から一時停止している。更に令和3年1月には2度目の緊急事態宣言が発出され、観光誘客面で大きな影響を及ぼしている。 	<ul style="list-style-type: none"> おもてなしの心をもって、観光客へ観光情報の提供や観光スポットの案内をする。 外国人旅行者への理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> おもてなしの心で観光客と接し、誘客とリピート率の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「新しい生活様式」に沿った観光施設の受入環境の整備に努める。 観光スポットへのアクセス等の利便性の向上に努める。 観光ルートを設定する。 観光情報を拡充し、観光客の利便性の向上を図る。 	

5. 施策全体の総括・今後の課題・今後の方向性

施策の成果実績と施策の基本情報及び施策コストに関する全体総括	今後の課題	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> 市民団体やむらづくり団体等と協力し、コロナ禍においても誘客が図れるように、新たな体験メニューについて研究した。 ムスリムインバウンド推進事業においては、コロナ終息後にインバウンド誘客が図れるよう、訪日オンラインツアーを実施し、本市のPRを実施した。 観光施設の整備については、施設の老朽化に伴う修繕に積極的に取り組んだ。また、観光客が安心して安全に観光施設を利用できるよう、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置を講じ、適切な維持管理と利便性の向上に努めた。 「魅力ある観光資源の開発と整備」部分の令和2年度決算見込額は約3,769万円で、令和元年度決算額に対して約2,641万円減少した。主な要因は、「観光施設改修事業費」の減少によるものである。(見込み) 	【令和3年度で解決する課題】 ・特になし。 【令和4年度以降にも引き継がれる課題】 ①安全で安心して快適に利用してもらえるような観光施設の維持・管理 ②新たな観光資源の開発 ③唐沢山城跡の全国的知名度アップ ④特産品・名産品等の観光資源化 ⑤体験型宿泊施設の体験メニュー等の充実と効果的なPR ⑥国際化対応看板を含む案内看板の整備 【令和4年度重点課題】 ⑦コロナ禍での観光誘客に関するスポーツ、産業及び文化との連携	①観光客が、安心して安全に利用できるように、「新しい生活様式」に沿った観光施設の受入環境の整備に努め、利用向上に取り組む。 ②新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、インバウンド向けの情報発信や呼び込みを図る。 ③唐沢山城跡を全国に情報発信する。 ④SNS等を活用し特産品・名産品等の情報収集を図り、観光資源として整備していく。 ⑤コロナ禍における安心安全な体験メニューの充実と効果的なPRを図る。 ⑥本市の玄関口であるような効果的な場所に国際化対応看板を設置する。 ⑦スポーツ、産業及び文化分野との連携も考慮した新たな観光資源及びルートを開発する。